

学校教育調査 B (学習) の概要

1 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、本県の学校教育に関する状況について、さまざまな立場の方の意識や実態を定期的に把握することにより、県内の学校が抱える課題を知るうえでの基礎的な資料を得るものととも、当総合教育センターの事業見直しをするための基礎資料を得ようとするものである。

本調査は長期計画で行っており、児童生徒の学習面・生活面全般について実施する学校教育調査 A と、その結果を補完するために実施する調査 B 及び調査 C から構成される。

1 回目のサイクルであった前回は、平成14年度に学校教育調査 A (児童生徒の学習面・生活面全般)、平成15年度に学校教育調査 B (児童生徒の学習面中心)、そして平成16年度に学校教育調査 C (児童生徒の生活面中心) を実施した。

昨年度から 2 回目のサイクルを開始し、平成17年度～平成19年度の 3 か年計画で同様の調査を実施して、本県の児童生徒の学習面・生活面の実態と経年変化などについて調査・分析するものである。

(2) 調査研究協力校

ア 調査協力依頼校は、県内10の教育事務所管内に設置されている30の小・中学校、10の高等学校とした。

イ 小・中学校の調査協力依頼校は、教育事務所を単位とし、学校規模や地域の特性等に配慮しながら児童生徒の 5 % 程度を対象とした。高等学校の調査協力依頼校は、昨年度と同一校 (教育事務所ごとにその管内に位置する専門高校等を含む一校) を抽出した。

2 回収状況

校 種	調 査 対 象	回収数 (人)
小学校	5 年生児童 (全員)	8 9 2
	5 年生児童の保護者 (全員)	8 7 1
	学級担任	1 8 8
中学校	2 年生生徒 (全員)	8 3 3
	2 年生生徒の保護者 (全員)	7 3 8
	学級担任 (副担任含む全員)	1 2 7
高等学校	全日制 2 年生生徒 (1 学級)	3 7 9
	全日制 2 年生の保護者 (1 学級)	3 4 2
	学級担任 (副担任含む全員)	2 6 1

3 調査内容

調査 B（学習）は、児童生徒の学習面の実態調査及び意識調査である。具体的内容は別紙「質問紙調査票」のとおりである。

4 調査方法

(1) 調査 B（学習）は、小・中学校にあっては、教育事務所，市町村教育委員会を通じて依頼することとし、県立学校にあっては、直接依頼するものとした。

なお、調査結果の回収は総合教育センターに直送とした。

(2) 調査用紙は予備分も配付するが、不足の場合は増刷して使用することとした。

(3) 回答は、個人に配付した回答用のマークシート用紙に記入することとした。

(4) 保護者への調査票の配付及びその回収方法は、各学校に一任することとした。

5 調査期間

平成18年9月4日（月）～9月25日（月）までの3週間

学校教育調査 B (学習) 質問項目一覧

注) 児等, 略したの言葉の意味は, 次の通りであること

児: 児童, 生: 生徒, 保: 保護者, 教: 教員

		小 学 校	中 学 校	高 等 学 校
1	学校が好きだ	児 保	生 保	生 保
2	児童生徒が学校を好きになる工夫の実施	教	教	教
3	勉強が好きだ	児 保	生 保	生 保
4	勉強は大切だ	児 保	生 保	生 保
5	勉強は将来の入試(就職)などに関係なく大切	児 保	生 保	生 保
6	勉強すればよい成績をとれる	児 保	生 保	生 保
7	勉強すれば入試に役立つ	児 保	生 保	生 保
8	勉強すれば好きな仕事につくことに役立つ	児 保	生 保	生 保
9	勉強すれば答えが見つけれられる	児 保	生 保	生 保
10	勉強すれば役立つ	児 保	児 保	生 保
11	勉強すれば保護者がほめてくれる	児	生	生
12	勉強すれば担任がほめてくれる	児 保 ²²	生 保 ²²	生 保 ²²
13	子どもを勉強のことでしかる	保 ²¹	保 ²¹	保 ²¹
14	子どもと友達について話をする	保	保	保
15	子どもと先生について話をする	保	保	保
16	教育について家族で話をする	保 ²⁷	保 ²⁷	保 ²⁷
17	子どもと「勉強や成績」について話をする	保	保	保
18	子どもと「入学試験や就職試験」について話をする	保	保	保
19	子どもと「将来や職業のこと」について話をする	保	保	保
20	教育進路面では世間一般の流れに遅れたくない	保 ²⁴	保 ²⁴	保 ²⁴
21	子どもに1日のできごとを聞く	保	保	保
22	よい成績のために勉強したい	児	児	児童
23	受験(就職)に役立つよう勉強したい	児	生	生
24	好きな仕事につけるよう勉強したい	児	生	生
25	わからないことがわかるよう勉強したい	児	生	生
26	生活や社会で役立つよう勉強したい	児	生	生
27	これまでもっと勉強していればよかった	児	生	生
28	わかりやすい授業にしてほしい	児	生	生
29	親は勉強しろと言い過ぎる	児 保	生 保	生 保

質問項目

	小 学 校	中 学 校	高 等 学 校
30 子どもの宿題を手伝う	保	保	保
31 子どもの夏休みの宿題を手伝う	保	保	保
32 学習の準備を確かめる	児	生	生
33 授業以外の読書時間	児 ²¹	生 ²¹	生 ²¹
34 読書を習慣化させる取組を行っている	教	教	教
35 子どもの1日の学習時間	保 ²⁸	保 ²⁸	保 ²⁸
36 家庭学習の方法がわからないことがある	児 ²² 保 ²⁹	生 ²² 保 ²⁹	生 ²² 保 ²⁹
37 子どもが勉強していてわからないところを教える	保	保	保
38 児童生徒に宿題をよく出している	教	教	教
39 家庭学習をどの程度するよう指導しているか	教	教	教
40 学校の参観日などに行事に参加する	保 ²³	保 ²³	保 ²³
41 テレビ視聴時間	児 ²³	生 ²³	生 ²³
42 手伝いの時間	児 ²⁴	生 ²⁴	生 ²⁴
43 携帯電話の利用時間		生 ²⁵	生 ²⁵
44 学校の授業以外で習っている(国語科)	児 ²⁵	生 ²⁶	生 ²⁶
45 学校の授業以外で習っている(社会科/地歴・公民科)	児 ²⁶	生 ²⁷	生 ²⁷
46 学校の授業以外で習っている(算数科/数学科)	児 ²⁷	生 ²⁸	生 ²⁸
47 学校の授業以外で習っている(理科)	児 ²⁸	生 ²⁹	生 ²⁹
48 学校の授業以外で習っている(英語科)		生 ³⁰	生 ³⁰
49 将来を考えると学習塾等に入れないと不安	保 ²⁶	保 ²⁶	保 ²⁶
50 子どもを将来どこまでの学校へ進学させたいか	保	保	保
51 少人数指導を実施している	教	教	教
52 ティームティーチングを行っている	教	教	教
53 習熟の程度に応じた授業を行っている	教	教	教
54 学校図書館を活用した授業を授業を行っている	教	教	教
55 課題解決的な学習を行っている	教	教	教
56 発展的な課題を取り入れた授業を行っている	教	教	教
57 理解が不十分な児童・生徒への補充指導の実施	教	教	教
58 児童生徒が授業内容をどの程度理解している	教	教	教
59 日常的に細かく児童の様子を観察している	教	教	教
60 自分の指導方法を振り返って改善している	教	教	教
61 より正確に学習の状況を家庭に伝えている	教	教	教

* , は、児童生徒・保護者・担任それぞれの質問紙の質問項目番号。